

## アイルーム南三陸 宿泊約款

### 第1条 (適用範囲)

- 1 当ホテルが、宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

### 第2条 (宿泊契約の申込み)

- 1 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
  - (1) 宿泊者名
  - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
  - (3) その他ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

### 第3条 (宿泊契約の成立等)

- 1 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、1ヶ月分を限度とした宿泊期間の宿泊料金等(別表第一)を当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 宿泊料金等は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第15条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第11条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の宿泊料金等を同項規定により、当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊約款はその効力を失うものとします。ただし、宿泊料金等の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

### 第4条 (申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 1 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

### 第5条 (宿泊契約締結の拒否)

- 1 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
  - (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
  - (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
  - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
  - (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
    - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力。
    - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
    - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの。
  - (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす行動をしたとき。
  - (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。

- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

#### 第6条 (宿泊客の契約予約解除権)

- 1 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約予約を解除することができます。
- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定による当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後6時（予め、到着予定時刻が明記されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

#### 第7条 (当ホテルの契約解除権)

- 1 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
  - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
  - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
    - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力。
    - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
    - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者がいるとき。
  - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
  - (4) 宿泊客が伝染病者であると明らかにみとめられたとき。
  - (5) 宿泊に関し暴力的要求が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  - (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
  - (7) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けてない宿泊料金等は頂きません。

#### 第8条 (宿泊の登録)

宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
- (2) 外国人にあつては、国籍、旅行番号、入国地及び入国年月日
- (3) 出発日及び出発予定時刻
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

#### 第9条 (客室の使用時間)

- 1 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から午前10時までとします。  
ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
  - (1) 超過3時間までは、室料相当額の30%
  - (2) 超過6時間までは、室料相当額の50%
  - (3) 超過6時間以上は、室料相当額の100%

## **第10条（利用規則の順守）**

宿泊客が当ホテルにおいては、当ホテルが定めて当ホテルに掲示した利用規則に従っていただきます。

## **第11条（料金の支払い）**

- 1 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
- 2 宿泊料金等は原則、1ヶ月単位の前払いにて宿泊する7日前までにお支払いいただきます。
- 3 継続する宿泊料等の支払いは入金済み最終日の7日前までに1ヶ月単位でお支払いいただきます。
- 4 当ホテルが宿泊客に客室を提供し使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

## **第12条（当ホテルの責任）**

- 1 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 2 当ホテルは、消防機関が交付する適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため賠償責任保険に加入してあります。

## **第13条（契約した客室の提供ができないときの取扱い）**

- 1 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

## **第14条（寄託物等の取扱い）**

当ホテルはマンスリーホテルという特質の為、寄託物の保管はできません。宿泊客の自己責任においてその管理・保管をお願いします。

## **第15条（駐車場の責任）**

- 1 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、指定された場所以外には駐車しないでください。なお、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときはその賠償の責めに任じます。

## **第16条（宿泊客の責任）**

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償して頂きます。

別表第1. 宿泊料金の算定方法（第11条第1項関係）

		内 容
宿泊者が 支払う べき総額	宿泊料金	基本宿泊代（室料）
	追加料金	駐車場代、食事代、その他の利用料金
	税金	消費税

備考1 税法が改正された場合はその改正された規定によるものとします。

別表第2. 違約金（第6条第2項関係）

契約解除の通知を受けた日		不泊	当日	前日	3日前	7日前	10日前	14日前	21日前
違約金の 比率	長期宿泊契約	100%	100%	100%	100%	80%	50%	20%	10%
	30泊未満	100%	100%	50%	30%	—	—	—	—

- (注) 1 %は、契約予約を取り消した場合の基本宿泊料金に対する違約金の比率です。  
 2 前金にてお支払い後に、契約日数が短縮した場合は、1ヶ月単位で返金いたします。  
 但し、通知をいただいた月の残りの日数分は違約金として返金いたしません。